



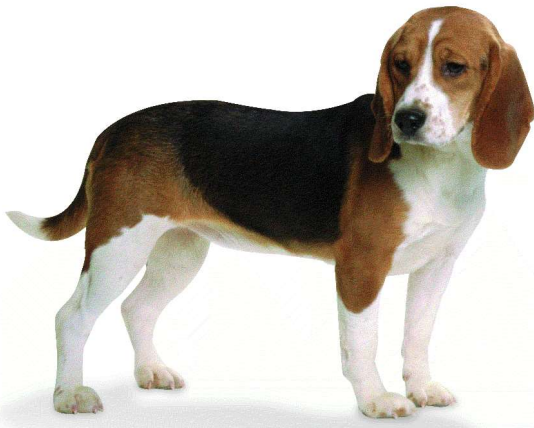
MARSHALL

BIO RESOURCES

マーシャル・バイオリソース・ジャパン株式会社

- 高品質な実験動物/エンリッチメント/動物薬用試験を提供 -

詳細は当社までお問い合わせください(電話:029-875-5870, FAX:029-875-5871, Email: info.jp@marshallbio.com,
ウェブサイト: <https://www.marshallbio.com/jp>)



マーシャルビーグル



マーシャルフェレット



ビーグル/フェレット/
ネコ血液等



APD/SPFネコ



SPF鶏卵



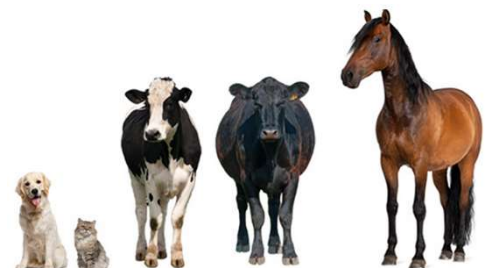
ハッピーマット
(げっ歯類用エンリッチメント)



A129/AG129マウス



コング等
(イヌ/サル用エンリッチメント)



動物薬用試験

その他、モングレル、APD/SPFビーグルの輸入を準備中

【名称】 マーシャルビーグル

【分野】 ヒト/動物用医薬品の動態/安全性研究

【詳細】 コロニーは1962年に米国にて確立され、1967年にクローズド化した。グローバルで多用されている試験研究用ビーグルである。若齢でのソシアライゼーションプログラムにより、実験動物として適した特性を持つ。穏やかな性格と、人と同種への高い親和性により、ハンドリングがしやすい。小型で化合物量も少量で済む。3極にてブリーディングを行い、大規模なコロニーにより安定供給を実現している。



【名称】 マーシャルフェレット

【分野】 ヒト用医薬品の感染症研究や嘔吐研究

【詳細】 1939年の会社設立当初より、米国にて繁殖飼育している。イヌディステンパーやヒトインフルエンザウイルスに対して感受性を持ち、感染症モデルとして有用である。また、再現性よく嘔吐を起こす良好なモデルでもある。



【名称】 APD/SPFネコ

【分野】 ネコ用の動物薬/ワクチン研究やロット検定

【詳細】 APD(Antibody Profile Defined)動物は特定の病原体に対して抗体を有していない。1975年にLiberty Research社によって、米国にてコロニーが確立された。その後、2018年にマーシャルグループに加わった。高週令であっても安定的に提供可能である。完全なバリアールームで飼育され、ワクチン未接種の状態でも入手可能である。また、ご要望によりワクチン接種の状態でも入手可能である。コロニーは病原体(例:猫ヘルペスウイルス、猫カルシウイルス、猫コロナウイルス等)に対しての抗体価を、定期的にモニタリングしている。



【名称】 ハッピーマット

【分野】 げっ歯類用エンリッチメント(マウス/ラット)

【詳細】 当社英国施設にて、天然の麻の茎繊維を加工して製造している。マウスが繊維を齧ってほぐし、巣作り行動をすることで精神的に落ち着き、ファイティングの軽減や離乳率の向上が期待できる。また、ラットは引きずりまわして遊んだり、休息板の代わりとして活用する。結果的に、げっ歯類試験データの信頼性や安定性の向上に役立つ。標準のエンリッチメントとして有用である。



【名称】 コング、ブラクタイ、ボール

【分野】 イヌ/サル用エンリッチメント

【詳細】 当社(イヌ)にて使用している。イヌが噛んだり、転がしたりすることでストレス解消の道具となる。ブラクタイは人とイヌで引っ張りあいながら遊ぶこともできる。



【名称】 A129マウス、AG129マウス

【分野】 感染症研究(テング熱、ジカ熱等)

【詳細】 当社英国施設にて繁殖飼育しているノックアウトマウスである。専用アイソレーター/IVCで管理され、FELASA推奨事項に従ってモニタリングしている。以下の2系統を提供できる。
IFN α / β R-/- (A129): インターフェロン α / β レセプター欠損(I型インターフェロン欠損)
IFN α / β / γ R-/- (AG129): インターフェロン α / β / γ レセプター欠損(I型、II型インターフェロン欠損)



【名称】 SPF鶏卵

【分野】 ヒト/動物用のワクチン製造/研究

【詳細】 Beijing Boehringer Ingelheim Vital Biotechnology社と提携している。鶏のフロックは1991年に確立し、その後、ペーリンガーインゲルハイム社とのジョイントベンチャーが1997年に中国(北京)にて設立された。コンピューター制御の自動化された施設(バリアールーム)にて、レギュレーションに対応した品質基準のSPF鶏卵を提供可能である。特に日本は地理的に近いこともあり、輸送の際には大きなメリットとなる。



【名称】 動物用医薬品開発の試験受託

【分野】 動物用医薬品開発

【詳細】 2019年にClinvet社(南アフリカ)とジョイントベンチャーを設立した。南アフリカ、モロッコ、米国の3拠点にて、VICHに準拠した試験を実施可能である。対象はイヌ、ネコから家畜まで含まれる。また、寄生虫の試験にも対応可能である。外部専門家にも効率的に協力を求めることで、迅速に試験を実施している。

